

キリスト教文化研究センターの歩み

平成28年度(2016-2017)

・所員会

平成28年度は、4月28日、5月26日、6月30日、7月28日、9月29日、10月27日、11月24日、12月22日、1月26日、3月16日の計10回開催。主にキャンパスコンサート、教職員研修会、セミナーについて話し合いが行われた。

定例所員会としては、基本的に前・後期とも毎月最後の木曜日14:40～16:00に開催したが、例年のように大学側の事情で正規の授業以外に様々な企画や会議などの業務が増え、教員の仕事も多様化する中で、所員会への集合も難しい状況が続いた。平成28年度の所員数は、正所員 11名、オブザーバー 1名であった。

・キャンパスコンサート～鹿児島歌姫を迎えて～

平成28年6月14日(火) 13:00～14:00

場所： 江角記念ホール

6月14日(火)のアセンブリーの時間に全学向けのキャンパスコンサートを実施した。音楽を通して建学の精神をより深く体験できるよう、鹿児島在住の2名の著名なアーティストをお招きし、さまざまな種類のアヴェ・マリアや日本の叙情曲、オペラのアリアなどを歌っていただいた。迫力のある生の歌に圧倒された、美しい・純粋な世界へ誘われた、幸せな時を過ごせた、またこういう機会を作ってほしいなど、感動的だったという学生の感想が多かった。

・教職員全体研修会

平成28年9月5日(月) 10:00～11:30

演題： 「シスター江角ヤスの歩んだ道」

講演者： シスター 山口キヌエ

対象： 鹿児島純心女子大学全教職員(FD・SD)

場所： サンタマリア館 3F 階段講義室

本学は学園の創立者江角ヤス先生が亡くなられた後に創立された大学で、江角先生の名前や学園標語・教育理念などは形の上では度々触れていても、抽象概念として頭の中での理解にとどまり、心に訴えるアピールが欠けているというのが実情であった。今回、研究者の話というよりは、実際に江角先生と生活や仕事を共にされた方の生の話を聞き、それを通して自分たちの中に江角先生の間像が形成されて行けば、その影響は自然な形で建学の精神の理解と実践につながるものとして、企画されたものである。講演後、教職員にとって純心のルーツを知ることとても良かったのではないかと、本などで読んで知るよりリアリティーがあつてとても感動した、今後も、教職員を対象にした、キリスト教精神や純心の精神を伝えるようなセミナーや講演会が企画されるとよいのではないかと、などの感想が聞かれた。

・セミナー 平成29年2月24日(金) 14:00～16:30

テーマ： 「キリスト教と教育」

演題： 「わたしの母とはだれか」

講演者： 竹山 昭 神父 (鹿児島純心女子大学名誉教授)

対象： キリスト教文化研究センター所員、大学教職員・学生（希望者）
場所： サンタマリア館 キリスト教文化研究センター

例年、当センターでは「キリスト教と教育」という流れから各講師の先生方にお話をさせていただいている。昨年、竹山昭先生に講演をお願いしたが、講演の後、先生のお話をもっと聞きたいという声が教職員の間からあり、今回も、竹山先生にご講話をお願いした。今回は「わたしの母とはだれか」と題して、特に聖母マリアに焦点をあててご講演いただいた。今回は大掛かりな公開セミナーとは違い、主に所員対象の少人数のセミナーを企画し、1時間半の竹山先生の講話の後、1時間ほどお茶を飲みながら講師を囲んで懇談した。所員以外の教職員も参加していただき、また学生も参加でき、純心の精神と結びつく聖母マリアを知り、考える機会が得られて、とても良かった、本音で話ができよかった、という感想をいただいた。

出版活動

「キリスト教文化研究センター 報告 6」2016年11月発行

平成29年度（2017-2018）

・所員会

平成29年度は、4月27日、5月25日、6月29日、7月27日、9月28日、10月26日、11月30日、12月21日、2月1日、3月16日の計10回開催。主にキャンパスコンサート、公開セミナーについて話し合いが行われた。

定例所員会としては、基本的に前・後期とも毎月最後の木曜日14：40～16：00に開催したが、例年のように大学側の事情で正規の授業以外に様々な企画や会議などの業務が増え、教員の仕事も多様化する中で、所員会への集合も難しい状況が続いた。平成29年度の所員数は、正所員 11名、オブザーバー 1名であった。

・キャンパスコンサート～ウィーンから音楽の贈り物～

平成29年7月11日（火） 13：00～14：00

場所： 江角記念ホール

7月11日（火）のアセンブリーの時間に全学向けのキャンパスコンサートを実施した。音楽を通して建学の精神をより深く体験できるよう、今回は音楽の都ウィーンで活躍する日本人トリオ、ウィーン・V. ルジェリウス・ピアノ三重奏団をお招きし、A. ドヴォルザークやJ. シュトラウスなどの楽しい楽曲を演奏していただいた。どの曲も美しく時間が経つのがはやく感じられた、大学で本場の音楽を聴けることに感謝している、ヴァイオリン・チェロ・ピアノのそれぞれの音色を味わいながら楽曲の意味や作曲家について知ることができウィーンの情景を思い浮かべながら聴くことができた、またこういう機会を作ってほしいなど、感動的だったという学生の感想が多かった。

・公開セミナー 平成30年2月23日（金）14：00～16：30

テーマ： 「キリスト教と教育」

演題： 「自分の容量を超えて相手を——ケアの精神とキリスト教の人間観」

講演者： 田畑邦治氏（白百合女子大学学長）

対象： 鹿兒島純心女子大学全教職員（FD・SD）、学生（希望者）

場所： サンタマリア館 3F 階段講義室

例年、当センターでは「キリスト教と教育」という流れから各講師の先生方にお話をさせていただいている。今年度は、「自分の容量を超えて相手を——ケアの精神とキリスト教の人間観」というテーマのもと、田畑邦治氏(白百合女子大学学長)をお招きして講演と質疑応答、懇談などが行われた。セミナーを通して、教職員一人ひとりがキリスト教や大学教育を見つめなおす貴重な機会となった。

出版活動

「キリスト教文化研究センター 報告 7」2019年3月発行予定